

10月25日に山陽東小学校で「赤磐市研究指定校園補助事業」に係る授業公開が行われました。山陽東小学校は下記の研究テーマで3年間、算数科に取り組んできました。その成果が発表されました。

山陽東小学校の校内研究のテーマ

瞳かがやく つながる学び ～?を!に～



6年生「立体の体積」上野裕菜 教諭

6年生では、四角柱を三角柱の二つ分と見立てて体積を求める方法を話し合いました。

協議では、子ども達が既習の三角柱と関連付けながら、図や式を結び付けながら説明できる時間をしっかりと確保する大切さが話し合われました。

学習にとっても前向きに生き生きと取り組む子どもたちの表情がとても素晴らしい授業でした。



4年生「面積」後藤美咲 教諭

4年生は複合図形(四角形をいくつか組み合わせたような形)の面積の求め方を話し合いました。

図形の面積の求め方をタブレット端末を用いて考え、方法ごとに分類するなどしました。協議ではICTの活用についても意見が交わされました。

自分の考えを伝えようとする子ども達の姿がたくさん見られた素敵な授業でした。

授業公開には、幼稚園や中学校の先生方も参加してくださいました。異校種で様々な視点の意見が交わされ、校種を越えてつながる学びも見えました。例えば幼稚園では、積み木遊びをした後、三角柱の積み木を2つ合わせて四角柱にして片づけます。遊びを通して経験として立体に触れています。その経験が小学校での学習とつながってきます。教員がそれぞれの校種の学びを知り、理解することで、より学習が豊かになることが確認されました。



山陽東小学校の先生方は、主として算数科の授業を通して多くの子どもの「かがやく瞳」を目指し、一人一人の学ぶ喜びに繋げようとして取り組んでこられました。その過程において、算数科の系統性や見方・考え方を学び深めてこられました。本研究での成果を、さらにどの教科でも汎用的に使うことができる授業づくりの見方や考え方、指導技術にいかしていただきたいと思えます。

2年間、赤磐市の先生方に有意義な学びを提供していただき、ありがとうございました。